



ピースボール
W 杯キャンペーン 2014

「ブラジルの ストリートチルドレンに サッカー場を!!」

活動報告書

■ ピースボールプロジェクトオフィシャルサイト
http://www.peaceboat.org/projects/p_ball

■ ピースボールプロジェクト公式ブログ
<http://ameblo.jp/peace-ball-project/>

ストリートチルドレンの居場所となる 「小さなサッカー場」を届ける キャンペーンを…

2013年夏、ピースポート・ピースボールプロジェクトでは、貧富の格差が社会問題となっているブラジルにサッカー場を建設する募金活動をスタートしました。サッカー大国ブラジルで64年ぶりに行われたワールドカップは、世界中のサッカーファンを魅了した大会であったと同時に、生活の向上を訴える市民によるワールドカップ反対デモが起きるなどブラジル国内の社会問題を浮き彫りにもしました。

このキャンペーンは、様々な社会背景からストリートチルドレンになってしまう子どもたちへのケアを目的として、子どもたちの未来に夢と希望を与えたい、という思いから始動しました。



スラム街「ファベレーラ」の現状

ブラジル全土に広がるスラム街。都市化・工業化が進んだ1950年代以降、生活基盤を失った貧困層の人々が生きる為、職を求めて農村部から都市部へと大量に移入し始めました。しかし低所得者層向けの住宅供給政策がほとんどとられておらず、住む場所すらないのが現状でした。人びとは住む場所を求めて空いている土地や公有地を不法占拠しました。このように出来た集落をブラジルでは「ファベレーラ」と呼びます。現在、リオデジャネイロの人口約600万人のうち、25%がファベレーラの住民とされています。



ストリートチルドレンが増える要因は、貧富の格差から生じる多くの社会問題。出口の見えない負のスパイラルから抜けだそうと、強盗、麻薬の密売など非行に手を染めてしまいます。路上に出ることで「自由」を勝ち取ったと考えてしまう子どもたちは、様々な非行に巻き込まれる可能性が高くなり、命の危険さえも危ぶまれます。



キャンペーンの概要・実績

ピースボートでは、ブラジル・リオデジャネイロに寄港した第81回ピースボート地球一周の船旅(13.11.22～14.03.06)にて現地を視察。サンマルチーニョ慈善協会の協力のもと、建設に向けて準備を始めました。

サンマルチーニョ慈善協会は、ピースボートがリオデジャネイロに寄港し始めた1998年から訪問しているストリートチルドレン養護団体です。主に路上生活をしている子どもやファベラ出身の子どもが施設に通い、路上でのカウンセリングから職業訓練など社会復帰までのケアを行っています。スポーツ支援やイベント、家族に向けたワークショップを通して、子どもたちの将来を見据えた活動を行っています。

サンマルチーニョ施設内に建設した91.29mの「小さなサッカー場」は、子どもたちが路上生活から抜け出す「大きなきっかけ」になるよう活用しています。



～応援メッセージをいただきました～



金田喜稔(日本サッカー名蹴会会長 / 解説者)

サッカーを愛する人間として、また「祭り好き」の日本人としても、このブラジルワールドカップを心から楽しみにしている。サッカーの母国「ブラジル」にサッカー場を作るピースボートのキャンペーン。世界には、「サッカーをしたくてもボールがない」「サッカーをしたくても場所がない」という子どもたちがたくさんいる。日本中から応援してブラジルにサッカー場を!



GAKU-MC (ラッパー)

言葉が通じなくても僕らは一つになることができる。それが音楽。そしてフットボール。共に唄い、そしてボールを蹴って世界と繋がれたらそんな素敵なことはない。ブラジルワールドカップまで後僅か。何か新しいことが始まる予感、しています。僕も力になれたらいいな。

～イベント開催 / タイアップ企画～

● GAKU-MC (from MIFA) 共同プロジェクト:ピースボートで、ブラジルへ (14.01.07)

「第 81 回ピースボート地球一周の船旅」にて GAKU-MC さんにご乗船いただき、ブラジルを訪問しました。ブラジルへ向かう大西洋上ではライブや講座を行っていただき、ナミビア(ウォルビスベイ)、ブラジル(リオデジャネイロ)ではサッカー交流を実施。ブラジルではサンマルチニョ慈善協会を訪問し、施設に通うストリートチルドレンと交流を行いました。



● ピースボールカップ開催 (14.06.21)

MIFA Football Park にご協力いただき、ブラジルワールドカップ開催期間中にチャリティーフットサル大会を開催。国際色豊かな 12 チームが参加し、白熱した一日となりました。アジア人初のフットバック世界に輝いたプロフットバックプレイヤー・石田太志さんによるパフォーマンスも行われました。

ブラジルの子どもたちに向けたメッセージもたくさん集まり、収益金の一部がワールドカップキャンペーン 2014 へ寄付されました。



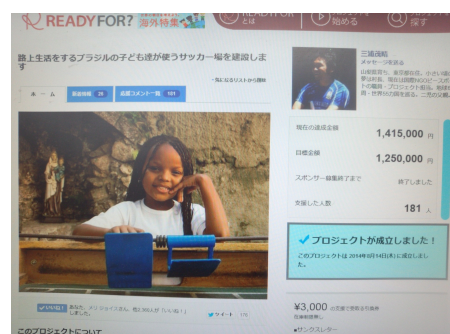
● 「第 9 回ブラジルフエスティバル 2014」にてブース出展 (14.07.19 ~ 14.07.20)

在東京ブラジル総領事館のご協力をいただき、在日ブラジル商業会議所主催のブラジルフエスティバル 2014 にブースを出展。開催中 2 日間募金活動を実施。来場された 10 数万人の方々に本キャンペーンを広げました。



● インターネットで寄付金を募るクラウドファンディングを活用 (14.05.26 ~ 14.08.14)

クラウドファンディングサイト「READY FOR?」よりご協力をいただき、インターネットにて活動応援の呼びかけ、キャンペーンの PR を行いました。クラウドファンディングにてご協力いただいた支援者のみなさまには、引換券としてブラジルの子どもたちからのメッセージを盛り込んだ商品などをプレゼントしました。



● ピースボールオリジナルゲームシャツ、製作

売上げの全てがキャンペーンの寄付にまわるチャリティーゲームシャツを限定発売。

ブラジル No.1 フットボールブランド「PENALTY (ペナルティ)」にご協力いただき、完全オリジナルで製作いただきました。



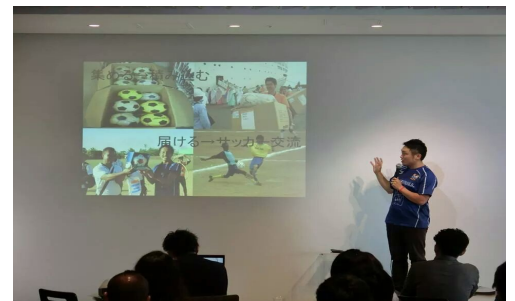
● 「ラモスハングアウト」にコメンテーターとして参加 (13.03.27)

『第2回 カーコンビニ倶楽部 LPC カップ 2013』開催を記念したインターネット上のトークイベント「ラモスハングアウト」に、ピースボートスタッフがコメンテーターとして参加。ブラジルワールドカップについてサッカー談義を展開しました。



● 六本木ヒルズ主催「Hills Breakfast」にてプレゼンテーション (14.05.30)

六本木ヒルズが月1回開催する Hills Breakfast にてゲストスピーカーとして登壇。PechaKuchaと呼ばれるプレゼンテーション形式で、20枚のスライドを1枚あたり20秒使ってお話しました。



● ロックバンド「FUNKIST」ワンマンライブ内で活動報告 (13.10.27)

ロックバンド「FUNKIST」のワンマンライブにてピースボートブースを出展。ステージ上でピースボールプロジェクトの活動報告を行いました。



～メディア掲載～

6月5日北海道新聞「ブラジルの子にサッカー場を建設。NGOが募金」

6月17日毎日新聞「サッカー場が希望を与える」

6月26日NHK総合 Sports プラス「ストリートチルドレンのためのコート」

～街頭募金・支援物資集め～

全国 10ヶ所のピースポートセンターを中心に、街頭募金やイベントを実施。サッカーファンをはじめとしたたくさんの方々から、募金とご声援をいただきました。



● ボランティアスタッフからの声

海野将成(三重県在住) 当時 30 才

チャリティフットサル大会を主催し、サッカーを楽しみながらたくさんのサッカーファンにブラジルの現状を伝えることができました。また、生まれてはじめて行った街頭募金活動では、最初はどのように声を出していいのかわからず戸惑いましたが、実際に寄付してくださる方の応援に勇気づけられました。人の温かさに触れると同時に募金を集める大変さ、そして一人一人に呼びかける大切さを学びました。いつかまたリオデジャネイロを訪れて、子どもたちと一緒に完成したコートでサッカーがしたいです。



任田和真(東京都在住) 当時 22 歳

街頭やインターネット上でたくさんの人に呼びかけをすることで、少しずつ着実に支援の輪が広がっている手ごたえがありました。心を込めてメッセージを発すると答えてくれる人が必ずいると、募金活動を通して人の繋がりの大切さに気付きました。完成したサッカー場で子どもたちが楽しそうに遊んでいる姿を見た時、協力してくれた多くの方々のことを思い出し、自然と涙が出ました。0 (ゼロ) を 1 (イチ) にする地道な活動は、本当に大切なことです。実際に現地を訪れた人間としてこれからたくさんの人たちに活動を伝えていこうと思います。



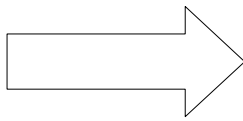
～収支報告～

		(円)
収入	街頭募金	305,970
	郵便振替、その他	202,800
	イベント収入	179,597
	ピースポート船内募金	142,353
	クラウドファンディング寄付	1,145,409
	グッズ販売	680,826
	合計	2,656,955

		(円)
支出	サッカー場建設費	¥1,960,620
	発送費	¥244
	イベント経費	¥15,055
	グッズ製作費	¥360,420
	交通費	¥6,920
	広告印刷費	¥34,765
	記録経費	¥8,942
	街頭募金	¥2,100
	クラウドファンディング経費	¥102,633
	活動費	165,256
	合計	2,656,955

ブラジルレポート

ブラジル・リオデジャネイロに寄港した第86回ピースボート地球一周の船旅(14.11.21～15.03.05)で完成したサッカー場を訪問。サッカー交流を実施しました。サッカーボールを含めた50点のサッカー用品を届けました。



サンマルチーニョ慈善協会にて(15.01.05)



※ サンマルチーニョ慈善協会の外観



※ 世界中で集めたメッセージをプレゼント



※ 支援物資を直接手渡します。



※ 建設費用支援者の名前(一部)が刻印されたプレート



※ お互いの言語を使いコミュニケーション。



※ 現地事情についてレクチャーを受けました。



※ 試合前の円陣。気合を入れます。



※ 素足でプレイ。ブラジルサッカーの原点。



※ サッカー未経験者も試合を楽しんでいます。



※ サッカーゲームも盛り上がりました。



※ 初めての日本文化体験。着物を着付け。



※ ブラジルの伝統スポーツ『カポエラ』で文化体験。

～サッカー場建設地・サンマルチーニョ慈善協会(レオナルドさん)からの声～

サッカー場ができて、子どもたちの反応はどうでしたか？

最初は、自分たちの通っている「居場所」(施設、広場)でなぜ工事が始まるの?と理解してもらうまで時間がかかりました。ピースポートとの共同プロジェクトだと説明ができたあとは、完成する日を今か今かと待ち望んでいて、実際に完成した時、子どもたちは本当に喜んでいました。

今では自分たちのために作られた特別なサッカー場に愛着がわいていて、利用者数も増えています。完成前は興味を示さなかった少女たちの関心も高まっていますし、子どもたちの自尊心の改善にもつながっています。

「ピースポートは次いつ来るの?」といつも子ども達から質問されるくらいです。

サッカー場の具体的な活用方法は?また重要性は?

サッカーを中心に、体を動かす活動の場として利用する予定です。サッカー以外には、バレーボール、バスケットボール、ドッジボール、ハンドボールなどの球技、その他にも団体イベントやカポエラなどを取り入れたワークショップを行います。可能な限り、たくさん子どもや若者に利用してもらえるよう開放していきます。

このような多機能スペースがあることで、サンマルチーニョに通う子どもたち、若者たちにより良いサービスが可能になりました。スポーツの実践、文化やレジャー活動ができる場所があることによって、子どもたちが路上で過ごす時間が減少していきます。施設に通うことでコミュニティで出会った子どもたち同士でつながっていくこともできるのです。

サッカー場の存在は、これからもたくさんのストリートチルドレンの関心を引き、路上生活から抜け出す大きなきっかけになることでしょう。



※ サンマルチーニョ慈善協会プロジェクト担当レオナルド・コスタ氏(中央)



※ 子どもたちからメッセージカードをもらいました。



※ 集合写真。地球の真裏に友達ができました。



● **ピースボート「PEACE BALL」プロジェクト**
http://www.peaceboat.org/projects/p_ball/

1999年より活動するNGO「ピースボート」の公式プロジェクト。ピースボートがコーディネートする国際交流の船旅で、アフリカのエリトリアを訪れた際、ペットボトルをボール代わりにサッカーをする子どもたちがいることを知ったことから活動がスタート。日本国内で不要になったサッカーボールを集め、世界各地の子どもたちに届けている。これまでに届けたサッカーボールは44カ国に13,000個以上。サッカーによる国際交流と、国境を越えた人と人とのつながりを築くことを目的に活動を行っている。

● **国際NGO「ピースボート」**
<http://www.peaceboat.org/>

国際交流の船旅をコーディネートする日本のNGO。1983年の設立以来、180以上の世界の港をめぐり、延べ5万人以上の人々の参加を実現。世界各地での交流を通じて、「平和」「人権」「環境」「グローバルゼーション」などの様々な問題に取り組んでいるほか、国連経済社会理事会との特別協議資格を持ち、地球規模での市民・NGOのネットワークづくりも積極的に行っている。

「ブラジルのストリートチルドレンにサッカー場を！」活動報告書

発行：ピースボート・ピースボールプロジェクト

編集：三浦茂晴

発行日：2015年1月20日

この刊行物に関するお問い合わせは下記までお願いします。
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-13-1-B1
TEL：03-3363-7561 FAX：03-3363-7562
E-MAIL：p-ball@peaceboat.gr.jp
URL：http://www.peaceboat.org/projects/p_ball/